

# ◆R5小中一貫教育推進シート

## 国分寺中学校区 学習指導部会 学力向上チーム

### 【目指す子ども像】

- 学び合い高め合う子ども
- 主体的に人や社会に関わる子ども
- 心身共に健康で自分を大切にできる子ども

### 【実践研究課題】

学び合いを深める聴く・伝える・関わる力の育成

### 【児童生徒の実態】

- ・課題にまじめに取り組める児童生徒が多い一方、進んで課題を見付け、取り組もうとする意欲には個人差がある。
- ・読書量に個人差が大きく、読書習慣が身に付いていない児童生徒がいる。

### 【部会のねらい】

- ・「家庭学習協調週間」「家読」の取組を通して、学習習慣や生活習慣の見直しを保護者に啓発し、家庭学習の習慣を身に付けるようにする。
- ・自分で課題を設定し、取り組むことを通して、自己肯定感や主体的に学習する態度を高めることができるようにする。

視点	<A> 教育課程の工夫改善	<B> 教育活動の連続性の確保	<C> 教職員間の連続・協働	<D> 家庭・地域との連携・協力
----	------------------	--------------------	-------------------	---------------------

取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国分寺中学校の実力テストに合わせて、「家庭学習協調週間」を設定する。</li> <li>・「家庭学習協調週間」を小中同時に行うことで、家庭全体で取り組む機会とする。</li> <li>・「家読」を実施し、読書活動の活性化を図る。</li> <li>・課題を工夫するための参考となるように、各校の自主学習ノートを掲示する。</li> </ul>
成果	
課題	

### 【年間活動計画】

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
日			6/30~ 7/3			9/29~ 10/10			学 12/3~12/6 読 冬休み			
	P		D						C	A	P	
			家庭学習協調週間			家読			家庭学習協調週間			

# ◆R5小中一貫教育推進シ-

## 国分寺中学校区 学習指導部会 授業研究チーム

**【目指す子ども像】**  
 ○学び合い高め合う子ども  
 ○主体的に人や社会に関わる子ども  
 ○心身共に健康で自分を大切にしている子ども

**【実践研究課題】**  
 学び合いを深める聴く・伝える・関わる力の育成

**【児童生徒の実態】**  
 友達と協力して学習に取り組む姿が多く見られる。聴き合うことで自分の考えを深めていく点において課題がある。

**【部会のねらい】**  
 「聴く力」の育成を目指す授業を行うことで、子ども達の学びの深まりにつなげる。

視点	<A> 教育課程の 工夫改善	<B> 教育活動の 連続性の確保	<C> 教職員間の 連続・協働	<D> 家庭・地域との 連携・協力
----	----------------------	------------------------	-----------------------	-------------------------

取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>各学校において、「聴く」に注目した授業実践を1人1つ行い、板書と振り返りのデータを共有する。</li> <li>授業研究チームの部員は、他校の公開授業を1つ参観する。</li> </ul>
成果	
課題	

**【年間活動計画】**

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
日												
	P		D						C	A	P	

# ◆R5小中一貫教育推進シート

## 国分寺中学校区 学習指導部会 特別支援教育チーム

**【目指す子ども像】**  
 ○学び合い高め合う子ども  
 ○主体的に人や社会に関わる子ども  
 ○心身共に健康で自分を大切にできる子ども

**【実践研究課題】**  
 学び合いを深める聴く・伝える・関わる力の育成

**【児童生徒の実態】**  
 ・見通しを持つことが苦手で、不安をもちやすい児童が多い。  
 ・障害の特性や個々の差は大きい、書くこと、話すこと（発表・会話）の表現することやコミュニケーションについての課題のある児童が多い。

**【部会のねらい】**  
 ○小中間の連続性のある支援や教育活動の確保を図り、児童生徒一人一人のもてる力を高め、自立や社会参加に向けた主体的な生活ができる力を育てていく。  
 ・表現力やコミュニケーション力を高める指導の工夫をする。  
 ・他者理解や自己の成長に気付いたり、将来に対するイメージの獲得につながったりするような児童・生徒の交流活動の工夫をする。

視点	<A> 教育課程の工夫改善	<B> 教育活動の連続性の確保	<C> 教職員間の連続・協働	<D> 家庭・地域との連携・協力
----	------------------	--------------------	-------------------	---------------------

取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小中学校の教職員間、学校と保護者間における情報交換を通して、相互理解を深め、小・中学校の滑らかな支援の継続を推進する。</li> <li>・他者理解や自己の成長に気付いたり、将来に対するイメージの獲得につながる児童・生徒間の交流を行う。</li> <li>・表現力やコミュニケーション力を高める指導の工夫とプログラムの共有や情報交換を行う。</li> </ul>
成果	
課題	

### 【年間活動計画】

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3				
日			14	31			7	15								
	P		D						C	A	P					
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コミュニケーション能力を高めるための授業の実践(各校)</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・小・中学生の交流活動</li> <li>・6年生児童と保護者対象の授業参観</li> <li>・学校と保護者の交流活動</li> <li>・保護者対象中学校の支援学級について</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・教職員間の情報交換</li> <li>・指導法、授業、児童・生徒について等の情報交換</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・小・中学生の交流活動</li> <li>・手紙の交流 ※時期は各学校や学級に応じて</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・小・中学生の交流活動</li> <li>・市小中合同レクリエーション大会(交流活動)</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・各校の取組の共有</li> <li>・成果と課題について話し合い</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・教職員間の情報交換</li> <li>・中学校教員による小学校見学(実施時期未定)</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・小・中学生の交流活動</li> <li>・中学生と小学生6年生との交流活動(実施時期未定)</li> </ul>	

# ◆R5小中一貫教育推進シート

## 国分寺中学校区 児童生徒指導部会 児童生徒指導チーム

### 【目指す子ども像】

- 学び合い高め合う子ども
- 主体的に人や社会に関わる子ども
- 心身共に健康で自分を大切にできる子ども

### 【実践研究課題】

学び合いを深める聴く・伝える・関わる力の育成

### 【児童生徒の実態】

- ・多くの児童生徒が元気に生活できている。
- ・基本的な生活習慣の身に付いている児童生徒が多いが、特に配慮を要する児童生徒も在籍している。

### 【部会のねらい】

異校種、異年齢の相手との交流を通して、お互いに対する理解を深めるとともに、小中で連携し、時と場に応じたあいさつや言葉遣いをきちんと行えるようにする。（話の聞き方や伝え方など、児童生徒のコミュニケーション能力の育成を目指す。）

視点	<A> 教育課程の 工夫改善	<B> 教育活動の 連続性の確保	<C> 教職員間の 連続・協働	<D> 家庭・地域との 連携・協力
----	----------------------	------------------------	-----------------------	-------------------------

取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いじめ防止に向けたスローガンを決定し、各学校でいじめゼロに向けた取組を行う。</li> <li>・中学校生徒会と小学校の代表が話し合いをし、いじめ問題について話し合う。（小中代表者交流会）</li> <li>・小中で同時期にあいさつ運動を実施し、国分寺中学校区で進んであいさつできるような取組を行う。（地域への啓発も行い、地域全体で意識の向上が図れるようにする。）子ども未来プロジェクトチームと連携を図る。</li> <li>・中学生による読み聞かせ会、小学生の質問に中学生が答える、合同あいさつ運動など、小中の児童生徒が交流できるようにする。</li> </ul>
成果	
課題	

### 【年間活動計画】

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
日												
		P		D						C	P	A
	今年度の活動計画作成			各指校の指導メニュー（子ども未来プロジェクト）				い・デ・イ・ア作成	い・デ・イ・ア作成	ま・ソ・リ・作・成		活・動・の・振・り・返・り・と・改・善

◆R5小中一貫教育推進シート

国分寺中学校区 児童・生徒指導部会 子ども未来プロジェクトチーム

【目指す子ども像】

- 学び合い高め合う子ども
- 主体的に人や社会に関わる子ども
- 心身共に健康で自分を大切にしている子ども

【実践研究課題】

学び合いを深める聴く・伝える・関わる力の育成

【児童生徒の実態】

- ・基本的な生活習慣は身に付いている。反面、生活習慣の乱れが見られる児童もいる。
- ・同学年の中でも、考えや行動に年齢差が見られる。

【部会のねらい】

- ・異校種、異年齢の相手との交流やあいさつを通して、お互いに対する理解を深めるとともに、時と場に応じた行動など、児童・生徒のつながりを意識したコミュニケーション能力の育成を目指す。

視点	<A> 教育課程の工夫改善	<B> 教育活動の連続性の確保	<C> 教職員間の連続・協働	<D> 家庭・地域との連携・協力
----	------------------	--------------------	-------------------	---------------------

取組	・中学校生徒会と小学校計画委員会の代表が話し合いの場をもち、SNSといじめを絡めた問題について話し合う。(7月31日国分寺小学校図書室)→出た内容を各校でポスター形式で周知。 ・小学校の「挨拶運動」に中学生が参加する。10月から11月にかけて、五回実施。
成果	
課題	

【年間活動計画】

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
日		24		12 31	29		2	15		10		
	P		D							C	A	P
		全体会		各校にて、各 校の課題と活動 の明確化	子ども未来プロジェクト	各校にて活動計画		小中交流活動	各部会ごとに活動 の取組を共有、 成果と課題		次年度の計画 の振り返り	

# ◆R5小中一貫教育推進シート

## 国分寺中学校区 健康安全部会 体力向上チーム

### 【目指す子ども像】

- 学び合い高め合う子ども
- 主体的に人や社会に関わる子ども
- 心身共に健康で自分を大切にできる子ども

### 【実践研究課題】

学び合いを深める聴く・伝える・関わる力の育成

### 【児童生徒の実態】

スポーツテストにおいて、体力優秀校に選ばれるなど中学校の体力は高い。しかし小学校では種目によって違うが、全体的に県平均を下回っており、体力の低い児童の割合が高い。また、中学校でも体力が高い生徒と体力の低い生徒の二極化が見られる。

### 【部会のねらい】

体力面での各校の課題を改善するような実践を積み重ね、基礎体力の向上をはかる。また、体力面での小中間のギャップを少なくする。

視点	<A> 教育課程の工夫改善	<B> 教育活動の連続性の確保	<C> 教職員間の連続・協働	<D> 地域との連携・協力	家庭・
----	------------------	--------------------	-------------------	------------------	-----

取組	体力を向上させるために準備運動に周回運動を取り入れる。また、小中間のギャップを少なくするために、中学校で行っている準備運動を小学校で部分的に取り入れる。ICTを活用した体育の授業を各校実践し、成果と課題を共有する。
成果	
課題	

### 【年間活動計画】

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	
日											
	P		D					C	A		
	各校、今年度の計画の把握		国中体操の伝達及び実践					(実践報告①) (各校の現状と課題)		(実践報告②) (各校の実践例の紹介)	
								(実践報告①) (実践のまとめ)		今年度の反省	

# ◆R5小中一貫教育推進シ-

## 国分寺中学校区 健康安全部会 健康・食育チーム

### 【目指す子ども像】

- 学び合い高め合う子ども
- 主体的に人や社会に関わる子ども
- 心身共に健康で自分を大切にしている子ども

### 【実践研究課題】

学び合いを深める聴く・伝える・関わる力の育成

### 【児童生徒の実態】

基本的な生活習慣が定着している児童生徒が見られる一方、勉強や習い事、メディアの使用などで睡眠時間が遅くなり、生活習慣の乱れへとつながっている児童生徒も少なくない。就寝時間が遅くなることで朝起きられず、朝食欠食につながっている児童生徒の割合が2年ほど前から増加傾向にある。

### 【部会のねらい】

生活習慣の基本である「早寝・早起き・朝ごはん」を定着を図り、心身共に健康で自分を大切にしている子どもの育成を目指す。

視点	<A> 教育課程の工夫改善	<B> 教育活動の連続性の確保	<C> 教職員間の連続・協働	<D> 家庭・地域との連携・協力
----	------------------	--------------------	-------------------	---------------------

取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・長期休業(夏休み・冬休み)明けに生活習慣見直しweekを設定し、生活習慣チェックシートを使った休み明けの生活習慣の改善を図る。また、小中同時期に設定することで、家庭への働きかけの機会とする。</li> <li>・ほけんだよりに小中一貫コーナーを設け、家庭への啓発を図る。</li> <li>・給食時の校内放送で、食育・朝ごはんの大切さについて共通の内容を放送する。</li> <li>・給食週間において共通のテーマでの取り組み。</li> </ul>
成果	
課題	

### 【年間活動計画】

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
日													
	P		D								C	A	P
	全体会・組織編成	各校の健康課題の把握と課題の設定	実践方法の検討			ほけんだよりの3月～3月の小中一貫コーナーの作成	生活習慣チェックの実施①	朝食アンケートの実施(3月)	給食週間チェックカードの実施	生活習慣チェックの実施②	成果と課題の確認	次年度の計画作成	

# ◆R5小中一貫教育推進シート

## 国分寺中学校区 地域連携部会

### 【目指す子ども像】

- 学び合い高め合う子ども
- 主体的に人や社会に関わる子ども
- 心身共に健康で自分を大切にしている子ども

### 【実践研究課題】

学び合いを深める聴く・伝える・関わる力の育成

### 【児童生徒の実態】

地域のボランティア団体や公民館、小中学校が連携を図りながら活動を行うための体制を整備することができている。児童生徒は、小中学生と一緒に活動を行う機会を楽しみにしており、地域の方との交流にも、意欲的に取り組んでいる。

### 【部会のねらい】

地域学校協働活動を中学校区に広げ、小中一貫教育と関連させながら、目指す児童・生徒像の実現に迫る。昨年度までの活動内容を継続し内容を充実させ、児童生徒が活動に進んで取り組むことができるようにする。

視点	<b>&lt;A&gt;</b> 教育課程の工夫改善	<b>&lt;B&gt;</b> 教育活動の連続性の確保	<b>&lt;C&gt;</b> 教職員間の連続・協働	<b>&lt;D&gt;</b> 家庭・地域との連携・協力
----	-------------------------------	---------------------------------	--------------------------------	----------------------------------

取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本の読み聞かせは、小学校(国分寺小)の図書館の本を使って実施する。読み聞かせ時には、小中学生の交流を検討する。</li> <li>・作品交流は、国分寺公民館で実施する中学校の作品展示(10月)に合わせ、小学校の作品も一緒に展示し、学習の成果を地域に発信する機会を設ける。その後、各学校での作品交流展示を実施する。</li> <li>・里山活動は、国分寺跡、国東小で実施する。今年度は、小中学生と一緒に活動する機会を設ける。</li> </ul>
成果	
課題	

### 【年間活動計画】

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
日													
	P		D						C	A	P		
	昨年度の活動内容の確認と協議		具体的な活動内容の作成			(・読み聞かせ準備開始)		・作品交流①	・里山活動 ・作品交流②	活動の振り返り	・活動の改善点について協議 ・小学校における本の読み聞かせ	今年度の活動の振り返りと次年度の計画の作成	